

# 秋の彩り



5万㎡の休耕田を彩ったコスモス畑  
(10月9日、下稻葉コスモス街道花まつり)



蘭学通りで繰り広げられた  
45mと50mのかんぴょう  
海苔巻きづくり  
(10月16日、蘭学通り祭り)



(関連記事12頁)

# 壬生町合併 50周年

# 壬生町健康ふくしまつり



10月2日、町保健福祉センター及び駐車場において「健康ふくしまつり」が開催され、約3,000人の家族連れで賑わいました。

まつりに先立ち行われた式典は、田中一男町議会議長、佐藤勉衆議院議員、鯉沼義則県会議員等を来賓に迎え、清水英世町長が、「今年は壬生町合併50周年の節目の年。健康の問題、福祉の問題を町の重要課題として考えています。本日の健康ふくしまつりを自分の健康、これからの福祉づくりをご理解していただく機会にさせていただきたい。」とあいさつがありました。

## 保健や福祉功労者を表彰

町の保健事業や福祉の発展のために献身的に活動を続けている保健・福祉事業功労者や3歳児のよい歯のコンクール入賞者、国保の医療を受けることなく健康に過ごされた健康優良家庭、社会福祉向上のため高額の寄付をされた方々の表彰式が行われました。



松井さん 高木さん 葭葉さん 上間さん 高橋さん

3才児よい歯のコンクール入賞者

## 体脂肪・骨密度・筋力の程度は…

会場内では、骨密度測定や体脂肪測定による健康チェック、看護師による血圧測定やホームヘルパーによる介護保険相談、転倒骨折予防の筋力測定などの介護保険コー



骨密度測定

ナー、介護用品・福祉機器の展示、生きたい講座で作製した陶芸などの展示コーナー等が設けられ、骨密度測定や体脂肪測定では、順番を待つ列ができるほどでした。また、ズンドコ体操や玄米ニギニギ体操などの実演コーナーでも多くの人が参加し、身体を動かすことを楽しんでいました。



血圧測定

## 屋外でも多彩な催しを実施

一方、屋外では、5キロコースの健康ウォークが実施された他、卵や野菜・かんぴょうなどが当たるダーツゲーム、車イスハンディキャップ体験、献血、ペットの健康相談等が行れ、各種ボランティア団体による模擬店や多彩な催しで大変盛りあがりを見せました。また、参加費ペットボトル30本のリサイクルフリーマーケットも行われ、晴天にも恵まれ大勢の人で賑わいました。



ズンドコ体操

# 保健事業や福祉功労者を表彰



(受賞者のみなさん)

## 健康ふくしまつり受賞者 (敬称略)

### 町長表彰

#### 保健事業功労者表彰

#### 保健組織活動部門

野口 榮子 (保健委員)

#### 栄養改善部門

渡辺 愛子 (栄養士)

#### 廃棄物部門

安塚三自治会

#### 福祉功労者表彰

#### 施設従事者部門

小松 良子 (しもつけ荘)

桑川 昌子 ( )

西澤亜紀子 (グループホームうらら)

#### 老人クラブ育成功労者部門

澁木 信次 (安塚中央百寿会)

佐藤 トキ (下横町寿会)

渡邊忠次郎 (国谷中央長寿会)

楡木 チヨ (本郷七福会)

中嶋文一郎 (原坪第二老人クラブ)

#### ボランティア功労者部門

福田 正子

石塚さち子

柴田 康子

#### 優良老人クラブ・ボランティア団体部門

壬生町女性会 (代表 野口榮子)

在宅福祉サービスこもれび

(代表 池 節子)

睦つ子の森フェスティバル実行委員会 (代表 玉田 秀夫)

のぞみホームを応援する会 (代表 井上 洋一)

上表町ときわ会 (代表 早乙女 昇)

社会福祉推進者部門 (代表 安生登志子 (保護司) 碓水 侑男 (人権擁護委員))

福祉功労者感謝状

3歳児よい歯のコンクール表彰

最優秀賞 松井 龍佑 (西高野)

優秀賞 高木 春菜 (安塚一)

優良賞 葭葉 智也 (緑町一丁目)

上間 大輔 (幸町三丁目)

高橋 頌平 (西高野)

親と子のよい歯のコンクール表彰

最優秀賞 熱田 淑乃・陽 (幸町三丁目)

優秀賞 鈴木 幸子・聖人 (至宝町北)

国民健康保険健康優良家庭表彰

10年表彰 酒井 正雄 (仲通町)

5年表彰 鈴木 晟中 (駅 東)

長 恵吾 (下横町)

神永 千工 (上町)

上田 武生 (安塚三)

中島 清吾 (助谷)

松本 智礼 (落合)

田谷 健次 (若草)

社会福祉協議会会長表彰

高額寄付者表彰

15万円以上の寄付者

第31回獨協医科大学祭実行委員会 (代表 若尾 純子)

壬生町老人クラブ連合会 (代表 神永 昭次)

ふれあいカラオケ教室 (代表 中川 三藏)

壬生町女性会 (代表 野口 榮子)

熱田 淑乃・陽 (幸町三丁目)

鈴木 幸子・聖人 (至宝町北)

「農地を売るのに許可が必要？自分の田んぼなのに…どうして？」

# 分かりやすい

## 『農地転用のしくみ』

皆さんは、農地を売ったり所有権移転をしたりした経験がありますか？これをするためには、事前に許可申請をし、あらかじめ許可を受けなければなりません。

**自分の農地でも許可申請が必要！**

自分が所有する農地でも、所有権移転をするときや貸し借りをするときには、農地法に基づく許可が必要です。また、田畑を山林にしたり、宅地にしたりする転用（地目・利用目的の変更）の場合も同

様です。砂利採取や赤玉土の採取などの一時的な行為でも許可が必要です。

自分が所有している一般の山林や宅地の売買、貸し借りは許可制とされていないのに、農地の場合にはなぜ？と思われる人も多いかと思いますが、それには次のような理由があります。



### 優良農地の確保と効率的な利用が基本

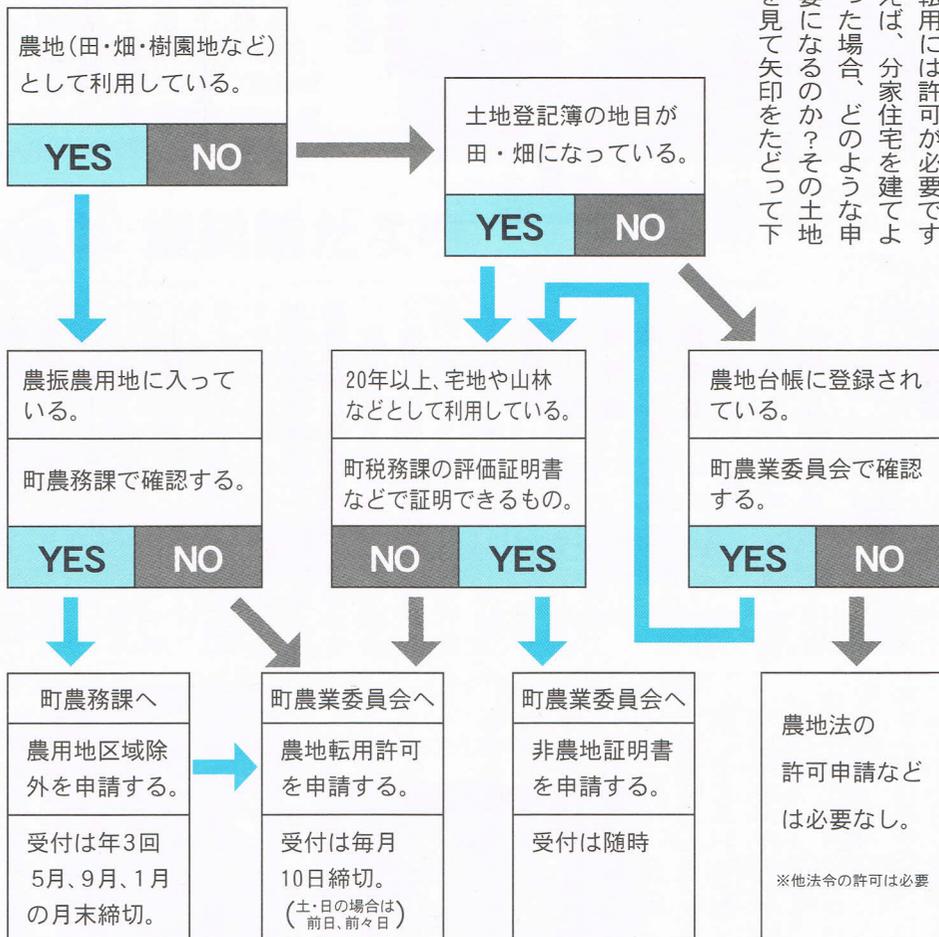
日本は国土が狭く、しかも全体の3分の2を山林が占めています。その中で食料の安定的な供給を図るためには、優良な農地を確保するとともに、それを最大限効率的に利用する必要があります。そのため、農地を農地として正しく利用できるように制限を行います。そのために許可制をとっているのです。

また、その許可を受けるためには、農地法に基づく許可申請が必要になります。

# 農地の転用には、

農地の転用には許可が必要ですが、例えば、分家住宅を建てようと思った場合、どのような申請が必要になるのか？その土地の状況を見て矢印をたどって下さい。

## スタート



許可が必要です！

※できるだけ、事前にご連絡ください。

相談先 町経済部農務課 ☎ 81-1839 町農業委員会 ☎ 81-1875

## スクールガードの皆さんが 活躍中です！

本町では地域社会全体で学校安全に取り組む体制を目指し、各小学校区単位でボランティアを募集し、スクールガード（安全支援ボランティア）として活躍して頂いています。具体的な活動は、散歩などの機会を活用し、無理のない範囲で学校内外を巡回して頂き、子ども達に声をかけて頂いたり、不審者等を発見した際は学校や教育委員会にお知らせ頂くというものです。巡回の際は黄色の蛍光色のベストを着用して頂き、犯罪からの抑止効果も狙っています。

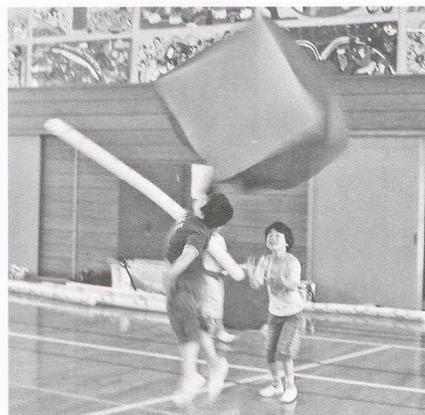
子ども達の安全を確保していくためには地域の方々の御協力が不可欠です。ぜひ皆さんもスクールガードとして、子ども達を温かい目で見守ってください。



## 「子ども遊び・学び塾」に参加しませんか！

子どもたちの思いやりや行動力、協調性、前向きに生きていく力などの心の豊かさは、学校生活だけで身に付くものではなく、家族や同じ地域で暮らす多くの人たちとふれあいながら得られるものだと考えられます。また、それにより大人たちも交流を深めることができ、人を育む地域の再生にも結び付きます。

教育委員会では主に土曜日の午前中に、学校や生涯学習館、嘉陽が丘ふれあい広場を会場に「子ども遊び・学び塾」を展開し、大人も子どもも自由に参加できて、遊び、学び、ふれあえる場を提供しています。家庭・学校・地域がひとつになって、無理なく楽しく、できる範囲から子どもたちを育む環境づくりを進めましょう。まずは「子ども遊び・学び塾」に参加してみませんか。



## 11月は全国青少年健全育成強調月間です

栃木県の「とちぎ心のルネッサンス」運動の展開をはじめ、11月は青少年健全育成のために諸事業、諸活動が集中的に実施されます。各種活動への御理解と積極的なご参加をお願いします。

# 利用していますか！ 町の福祉制度

## ◆すこやか子育て支援制度◆



### すこやか子育て

#### 支援金制度

子どもを安心して産み育てることができるよう、「すこやか子育て支援金」を交付し、少子化時代における子育てを行う両親への支援を行う。

#### 受給要件

次の要件にすべて該当する方に交付されます。  
①第3子以上の出産の前日に、本町に引き続き1年以上住所を有する方  
②現に2人以上の児童を養育していること、または、2人以上の児童を養育している事実状態にあると認められること  
③第3子以上を出産し、かつ3カ月以上養育していること

#### 支援金額

1人につき 100,000円

#### 申請手続方法

該当する方は、出産の日から3カ月経過後に町民生部福祉課、稲葉・南犬飼出張所において申請してください。

### チャイルドシート

#### 購入費補助

①保護者（養育者）及び乳幼児が町内に住所を有する方  
②乳幼児が6歳未満の方  
③安全基準に適合するチャイルドシートを購入した方

#### 補助額

購入額（消費税を含む）の1/2（100円未満切捨て）、ただし、1台につき2万円を限度とする。 ※乳幼児1人につき1台に限る。

#### 申請に必要なもの

- ①領収書またはレシート
- ②品質保証書または取扱説明書
- ③預金通帳（保護者名義のもの）
- ④印鑑



### 第3子以降の

#### 保育料全額免除

町立の保育園、民間の認可保育園入園児童の保育料が第3子以降は全額免除になります。

幼稚園についても同様の助成制度があります。  
（詳しくは学校教育課学校教育係 ☎81-1871まで）

### 放課後児童健全

#### 育成事業

保護者等の不在などにより、下校後、保護指導を受けることができない、町内の小学校に通学する1年生から3年生までの児童の健全な育成を図るため、児童と保護者と組織する児童クラブが、基本的習慣を家庭的な雰囲気の中なかで学習する場を提供します。

#### 児童クラブの主な事業

- ①児童の育成・指導
- ②地域及び保護者相互の連絡・提携
- ③円滑な運営を図るため、定期的な運営委員会の開催

#### 児童クラブ開設時間及び休日

#### ◆開設時間

原則として、下校時から午後5時30分（但し、学校休業中は、午前8時30分から午後5時30分）

#### ◆休日

日曜日、祝日及び年末年始

#### 対象児童

町内の小学校に在籍する1・2・3年生の児童で、下校後家族が留

守のため、保護者の指導を受けられない児童  
委託児童クラブ

#### ①どんぐり児童クラブ

壬生町落合3-5-21

壬生東小学校内 ☎82-11151

②メリーランド児童クラブ

壬生町下稲葉396

☎82-5921

③ペリーキッズクラブ

壬生町本丸2-10-4

☎82-6212

④森の子児童クラブ

壬生町おもちゃのまち2-12-11

☎86-2780

#### 問合せ先

町民生部福祉課

児童福祉係 ☎81-1831



**「住基カード」は運転免許証などと同様に身分証明書としても便利  
顔写真付きの住基カードは、公的な身分証明書として、さまざまな暮らしの場で活用できます。**

壬生町に住民登録のある方は、希望すれば住民基本台帳カードが交付されます。カードの有効期間は10年です。顔写真付きのものと、顔写真の付かないものの2種類があり、希望によりどちらかを選ぶことができます。

住基カードの交付申請については、下記のとおりです。

- 受付時間 月曜日～金曜日の午前9時～午後4時30分  
手続きに30分ほど時間がかかります。  
(祝祭日、12月29日～1月3日を除く)
- 受付場所 壬生町役場 民生部 住民課
- 交付手数料 500円
- カードの有効期限 発行日より10年間
- 申請に必要なもの
  - 印鑑
  - 本人確認資料 (運転免許証・パスポート等官公署が発行した顔写真付き身分証明書)
  - 写真1枚 (顔写真付きのカードを希望される場合)  
受付窓口でも写真撮影できますが、ご自身で写真を持参する場合はパスポート用の写真 (4.5cm×3.5cm) で6ヶ月以内に撮影した正面・無帽・無背景のものをご用意ください。



※身分証明書のない方

本人に「照会書」を郵送しますので、必要事項を記入のうえ持参してください。

※カードの交付は、お申し込み者数によってしばらくお待ちいただく場合や、後日受け取りに来ていただく場合もあります。

※原則本人の申請となります。本人以外の方から申請する場合は、提出書類等申請方法が異なりますので、詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

※有効期限は10年間ですが、他の市町村に転出した場合には無効になります。この場合、カードは返納していただきます。

転居などの際は、表面に記載された住所などを修正しますので、住民基本台帳カードを窓口にお届けください。

住民基本台帳カードを紛失した場合は、直ちに窓口まで届け出てください。

**公的個人認証サービスによる電子証明書の発行について  
公的個人認証サービスに伴う電子証明書を発行しております。**

インターネットを使った電子申請や届出を行う際に、申請者の「なりすまし」や申請内容の「改ざん」などを防ぐため、本人であることを証明する電子証明書を住民基本台帳カード内に記録するサービスです。申請については、下記のとおりです。

- 申請できる方 壬生町に住民登録をしている方 (原則15歳以上)
- 申請に必要なもの
  - 住民基本台帳カード
  - 本人確認資料 (運転免許証・パスポート等官公署が発行した顔写真付き身分証明書)  
有効期限切れのもの、住所や氏名が未変更の免許証など申請書の内容と異なるものは本人確認書類として使えません。
- 有効期限 発行日より3年間
- 手数料 500円
- 受付場所 壬生町役場 民生部 住民課
- 受付時間 月曜日～金曜日の午前9時～午後4時30分 手続きに30分ほど時間がかかります。  
(祝祭日、12月29日～1月3日を除く)
- その他 電子証明書を使用するには、インターネットの利用可能なパソコンとICカードリーダーが必要で  
代理人が申請する場合は、提出書類等申請方法が異なりますので、詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

**問い合わせ先 民生部住民課 ☎81-1825**

# 幼稚園が取り組む子育て支援事業

壬生地区の各幼稚園では、教育機関としての立場からお子さんの心と身体を健やかに育む子育てを応援しています。

## 預かり保育

After Kindergarten

お仕事との両立やご家庭の様々なご事情に対応するため、各幼稚園では保育終了時から夕方5:00~6:00頃まで「預かり保育」を実施しています。家庭的な雰囲気を保ちながら、教育的配慮が行き届いた環境は幼稚園ならではの。

詳細は各幼稚園にお問い合わせください。



## 子育て相談

Counseling/Consulting

子育てに悩みや疑問はつきものですが、ひとりで思い悩んでいるより誰かに相談したほうが、問題の所在がわかり、解決の方法を見つけやすくなります。ご近所の先輩ママや親しいお友達なら、きっとよいアドバイスをしてくれるはずです。

でも、納得できる答えがなかなか見つからないときは、ぜひ幼稚園においでください。多くの幼児をお預かりする教育機関として、幼稚園はさまざまな経験と情報の引出を持っています。答えは必ずしもひとつとはかぎりません。

一緒にゆっくり考える —— そんなことも幼稚園の役割のひとつです。



## 幼稚園のねらいと内容

幼児は遊びや生活の中で、主体的に環境に取り組み直接的、具体的な体験を通して、生きていく力の基本となる心情、意欲、態度などを獲得していきます。こうした幼児期の発達の特徴をふまえて、幼稚園教育においては、幼児の中に育つことが望ましい「心情、意欲、態度」を「ねらい」と呼んでいます。そして、「ねらい」を達成するために幼児が身につけていくものを「内容」としています。幼稚園では幼稚園教育要領（文部科学省）に基づいて教育課程をたて、その「ねらい」と「内容」を幼児の発達の側面からとらえて、5つの領域としてまとめています。

### 5つの領域

心身の健康に関する領域『健康』

身近な環境との関わりに関する領域『環境』

人との関わりに関する領域『人間関係』

言葉の獲得に関する領域『言葉』

感性と表現に関する領域『表現』

# 未就園児おやこ教室

## Toddlers' Observation Class

子育てに国境はありません。アメリカでも州によって、月に何回か地域の集会場などで「Toddlers' Observation Class」が開かれています。これは、直訳すると「よちよち歩きの幼児の観察学級」とでもいうようなもので、1・2歳の幼児とその母親を対象にした、遊びと交流のための集まりです。

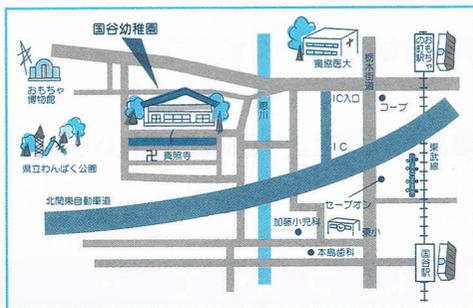
1・2歳は月齢差や個人差が大きく、子育てが最もむずかしい時期ですから、わが子の発達や自分の子育てに不安を抱く人は少なくありません。そこで、さまざまな子どもたちが一緒に遊ぶのを「観察」しながら、カウンセラーに質問したり、母親同士情報交換するなかで、自分の育児をみなおしたり、逆に自信を持ったり安心したりするための交流の機会が用意されているのです。

子育てが大変なのは洋の東西を問わずどこでも同じはずですが、日本の母親は欧米の母親に較べて子育てを深刻にとらえがちだといわれています。それだけ真剣なのだともいえますが、子どもたちが最も輝き、著しく成長するこの時期、発達の一瞬一瞬を目の当たりにできることの喜びを感じて、共に生活できたらいいですね。子どもたちにとっても、母親の優しくあたたかなまなざしは元氣と自信の栄養です。

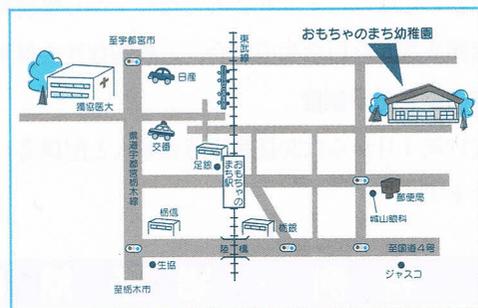
壬生地区の各幼稚園では、未就園児のために「園庭解放」や「親子教室」など、さまざまなプログラムをご用意してお待ちしております。

詳細は各幼稚園にお問い合わせの上、ぜひお気軽にお出かけください。

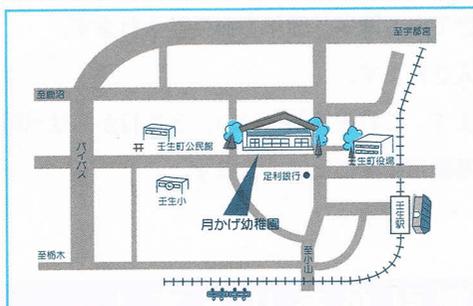
幼稚園名	未就園児親子教室	電話
おもちゃのまち幼稚園	こばとクラブ	86-5551
国谷幼稚園	キディルーム	82-1200
たちばな幼稚園	うさちゃんクラブ	86-0006
月かげ幼稚園	わんぱくクラブ	82-0233
やすづか幼稚園	なかよしクラブ	86-1009



国谷幼稚園



おもちゃのまち幼稚園



月かげ幼稚園



たちばな幼稚園



やすづか幼稚園



# 20歳になったら **国民年金加入** の手続きをしましょう!!

## 若者にも無縁でない公的年金

「年金」という言葉を耳にしても、若いときは保険料を納めるだけで高齢者になったとき初めてかかわりがあるように考えられがちですが、若いときにも意外とかかわりが深いものなのです。

公的年金は、自分の老後の支えになるだけでなく、それ以前に自分の親の老後を経済的に支えることとなります。一家の働き手が不幸にして亡くなったときには、**遺族年金**が支給されますし、思わぬ事故や病気がもとで障害が残ったときには、若い人にも**障害年金**が支給されます。

公的年金の基本理念である「世代と世代の支え合い」の意味をしっかりと認識して、公的年金制度に対する積極的な理解と参加に努めることが大切です。

公的年金へは、自動的に加入できるものではありませんので、加入手続きが必要です。  
保険料は20歳から60歳になるまで40年間納めます。  
手続きをしても保険料を納めないと年金を受け取る資格がありません。

## 保険料の納付が困難な場合には…

<学生と20歳台の人に特例制度があります>

### ●学生納付特例制度

学生本人の前年所得が一定以下\*であれば、役場住民課又は両出張所に申請し、社会保険事務所で承認された期間は未納扱いにはならず、社会人になってから保険料を納めることができます。

\*扶養親族等がない学生の場合、一般的な社会保険料控除を加えた所得の目安は141万円です。

### ●若年者納付猶予制度

平成17年4月からは20歳台の若者本人と配偶者の所得が一定以下の場合、申請により保険料を後払いにすることができます。

## 特例・猶予期間の扱いについて…

- ①一定の要件を満たしていれば、万一の事故や病気で障害が残ったときでも、障害基礎年金が受けられます。
- ②老齢基礎年金の年金額の計算には入りませんが、受給資格期間に算入されます。
- ③保険料は、承認を受けた月以降10年以内であれば納めることができます。これを追納といい、3年目からは当時の保険料に一定の額が加算されます。追納すれば、将来受け取る老齢基礎年金額に反映されます。
- ④毎年申請が必要です。

## 便利で安心 “口座振替” なら割引があります！

通常の口座振替の振替日は翌月末ですが、届出により当月末振替にすると1ヶ月あたり保険料が40円割引されます。

◆手続きは：金融機関または社会保険事務所

◆ご持参いただくもの：①年金手帳又は納付書 ②振替の預金通帳 ③通帳の届出印

◆問い合わせ先 栃木社会保険事務所 国民年金業務課 ☎22-6074・6075

町民生部住民課国民年金係 ☎81-1827

# スポーツ

## 21st MIBUナイター

### サッカー大会

10月4日～8日  
町総合運動場14チーム参加

#### 成績

優勝 壬生FC (代表中島義家)  
準優勝 Brand (代表葭葉統太)

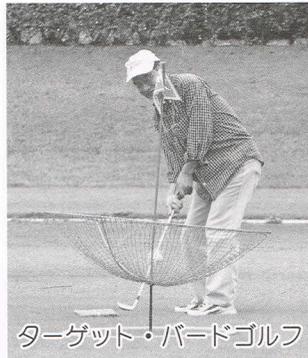
◀壬生FCのみなさん



## ニユースポーツを体験 壬生町レクリエーション大会

10月9日、総合公園陸上競技場で第15回町レクリエーション大会が行われました。

近年、町でも盛んになりつつあるターゲット・バードゴルフや、スポンジの剣で打ち合うスポーツチャンバラなど、11種類のニユースポーツを200人以上の方々体験していただき、最後に大盛況のイワナつかみで大会が終了しました。



ターゲット・バードゴルフ

## 第28回壬生町老人クラブ連合会 スポーツ大会開催

10月5日、壬生町老人クラブ連合会(神永昭次会長)主催による、第28回壬生町老人クラブ連合会スポーツ大会が行われました。

グラウンドで行われる予定でしたが、荒天により、体育館内で一部

## 第1回栃木県障害者 スポーツ大会競技結果

10月8日に、「第1回栃木県障害者スポーツ大会」が栃木県総合運動公園他で開催されました。本町関係の3位までの入賞者は、次のとおりです。

#### ●陸上競技 (所属)

- ◆100m走 第13組の部  
1位 鈴木 剛(むつみの森)
- ◆100m走 第15組の部  
1位 鈴木 一男(せせらぎ学園)
- ◆50m走 第8組の部  
1位 柏崎 勉(むつみの森)
- ◆50m走 第18組の部  
2位 秋山 民夫(せせらぎ学園)

種目を変更しての開催となりました。輪投げ競走、スプーンリレー、玉入れなど、さまざまな競技が行われ、出場者の皆さんは競技を楽しんでいました。

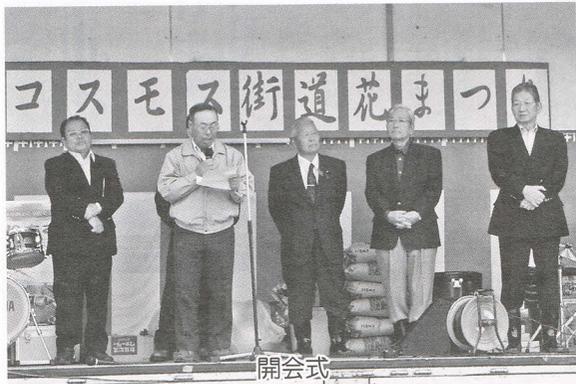


スプーンリレー

- ◆50m走 第28組の部  
2位 菅野 里美(むつみの森)
- ◆50m走 第30組の部  
1位 亀谷美由紀(むつみの森)
- ◆走り幅跳び 第1組の部  
2位 宇賀神勝男(町身障福祉会)
- ◆走り幅跳び 第7組の部  
1位 野口 正明(町身障福祉会)
- ◆走り幅跳び 第7組の部  
2位 宇賀神勝男(町身障福祉会)
- ◆ソフトボール投 第6組の部  
3位 田中 一男(町身障福祉会)
- ◆ソフトボール投 第36組の部  
1位 金山 徳和(町身障福祉会)
- ◆砲丸投 第17組の部  
3位 小島 慶一(町身障福祉会)
- 卓球  
◆第11組の部  
1位 伊地知敬太(かえで寮)
- ◆第14組の部  
2位 越後谷建志(かえで寮)
- ◆第19組の部  
2位 田島 美幸(かえで寮)
- ◆第21組の部  
1位 平山 千春(かえで寮)
- フライングディスク競技  
◆アキュラシー・ディスクリート・5  
◆第5組の部  
2位 中村 浩彬(むつみの森)
- ◆第6組の部  
3位 木村 保(町身障福祉会)
- ◆第8組の部  
1位 田中 健太(むつみの森)
- ◆第12組の部  
2位 床井 英夫(せせらぎ学園)
- ◆第13組の部  
2位 峯 健治(せせらぎ学園)
- ◆第14組の部  
1位 清水 功(せせらぎ学園)
- ◆第16組の部  
2位 矢嶋 健一(むつみの森)
- ◆第44組の部  
1位 朝日 昭(町身障福祉会)
- ◆アキュラシー・ディスクリート・7  
◆第60組の部  
2位 石村 博之(むつみの森)
- ◆第62組の部  
2位 中村 公香(むつみの森)
- ◆ディスタンス・レディス・シティング  
◆第1組の部  
3位 神永 敏江(むつみの森)
- ◆ディスタンス・レディス・スタンディング  
◆第6組の部  
1位 中村 公香(むつみの森)
- ◆第8組の部  
2位 石山 千尋(むつみの森)
- ◆ディスタンス・メンズ・スタンディング  
◆第25組の部  
3位 永山 伸男(せせらぎ学園)
- ◆第26組の部  
2位 尾林 孝雄(せせらぎ学園)
- ◆第42組の部  
3位 石村 博之(むつみの森)

# 育てよう花と緑と豊かな心

## 下稲葉コスモス街道花まつり



開会式

10月9日、下稲葉花祭り実行委員会（田邊正会長）主催の第6回下稲葉コスモス街道花まつりが下稲葉地内の休耕田で開催されました。会場では、地元メリーランド保育園児の琉球國祭り太鼓が元気に披露されたほか、生バンド演奏、ハイパー八木節が行われました。また、苗木や地元産の生いちごジュースが無料で提供された他、各種模擬店が多数出展し、会場を盛り上げてくれました。

当日は曇り空で泣き出しそうな空模様でしたが、大勢の家族連れが訪れ、5万㎡の休耕田一面に咲き乱れたピンクや赤のコスモスの花を楽しんでいました。



ハイパー八木節（右へならい）



メリーランド保育園「琉球國祭り太鼓」

# 江戸時代の街並みを再現

## ●●● 第4回蘭学通り祭り ●●●

10月16日、蘭学通りにおいて、第4回蘭学通り祭りが開催されました。大手門や関所などが設置され、江戸時代の街並みが再現された通りを、武者行列や神輿が練り歩きました。通りには多くの模擬店が立ち並び、吹奏楽・バンド・太鼓の演奏、よさこい踊り、野点、琴の演奏、アマチュアそば打ちフェスティバル、蘭学富くじなど、多くの催しが行われ、通りは多くの人で賑わいました。

また、今年は商工会青年部により、商工会の45周年と壬生町合併50周年を記念して、45メートルと50メートルのかんぴょう海苔巻き作りが行われました。出来上がった海苔巻きは、切り分けられ、参加者の皆さんに配られました。



武者行列



アマチュアそば打ちフェスティバル



蘭学富くじ

## 人権擁護委員に齊藤和子氏を委嘱

## 大森 忠氏・石崎典子氏を再委嘱

齊藤和子氏（安塚）が、平成17年10月1日付けで法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。また、大森忠氏（通町）・石崎典子氏（壬生丁）が同日、再委嘱されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんの人権に関する悩みごとなどの相談に応じるほか、街頭啓発活動や小・中学生を対象にした人権講話・映画会などを通して、人権の大切さについての理解を深めてもらうなど、人権意識の高揚にも努めています。



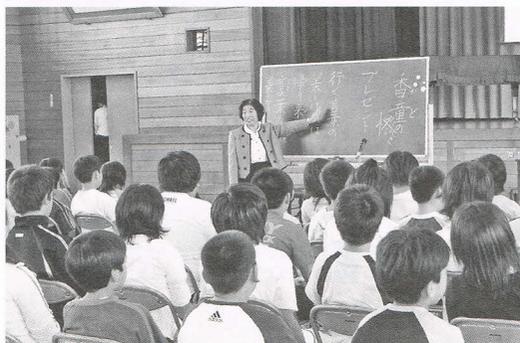
齊藤氏



大森氏



石崎氏



## 親子で人権について考える 稲葉小学校「親子人権教室」

10月14日、稲葉小学校において、町人権擁護委員協議会（大森忠会長）による「親子人権教室」が、4～6年生の児童と保護者を対象に行われ、人権擁護委員の石崎典子さんの講話と、人権啓発ビデオの鑑賞が行われました。

ビデオは身近な人権問題であるいじめに関するもので、講話の最後にも「いじめられているのをただ見ていたら、それもいじめ」との言葉

があり、子どもたちも保護者も真剣に講話に聞き入っていました。

このような試みにより、親子で人権について話し合うきっかけとなることが期待されます。

## 壬生中学校吹奏楽部 東関東大会に6年連続で出場

壬生中学校吹奏楽部が9月19日、茨城県民文化センターで開催された東関東吹奏楽コンクールで銅賞を受賞しました。また、10月22日に開催される東関東マーチングコンテストに県代表として6年連続で出場することになり、9月29日、今福里花部長、靄時玲香副部長、顧問の田中修・野尻朋子両教諭、鈴木善雄校長が町長室を訪問し、受賞と大会出場報告をしました。今福部長は、「東関東大会でも頑張ってきます。」と決意を述べました。



篠原教育長 鈴木校長 田中教諭  
靄時副部長 今福部長 野尻教諭 清水町長

## ◆ 早寝早起き朝ご飯 ◆



聴講者の興味を引きつけた鈴木先生の講話

## キーワードは「寝かしつける」と「朝ご飯」 とおりまち保育園子育て講座

家庭教育支援総合推進事業（文部科学省事業）の一環の子育て講座が、10月12日、とおりまち保育園で、同保育園の保護者等約100名が参加して開催されました。講師の聖徳大学短期大学部保育科助教授の鈴木みゆき先生が、「子どもの発達と生活リズム」と題して講演しました。

調査研究データ等を示して、早寝早起き朝ご飯が子どもの脳や身体の成長にいかにか大切かを訴えました。「子どもの生活リズムを優先して」に、保護者からは「私たち保護者が頑張らなければ。」といった意見が聞かれました。

# まちのわだい



## 合併50周年を記念して「大名鳥居家展」を開催 12月18日まで好評開催中

壬生町合併50周年を記念して歴史民俗資料館第16回企画展『大名鳥居家展』が10月15日、同資料館で始まりました。

開催初日に開会式が行われ、清水英世町長は、「合併50周年の節目の年に、壬生の歴史において重要な発展の時期を築かれ、我々の誇りとする『大名鳥居家展』を開催できることを大変嬉しく思います。」と主催者あいさつをしました。その後、鳥居宗家16代当主鳥居明氏、常楽寺住職國生泰俊氏の来賓あいさつに続いてテープカットが行われ、12月18日までの企画展がスタートしました。

同企画展は、初代元忠から最後の藩主忠宝までの由緒ある品々や子爵時代までの資料160余点が展示されています。

開催初日には町内外から約200人が来館し、数々の貴重な展示品に興味深く見入っていました。尚、同企画展は12月18日(日)まで開催していますので、是非この機会をご覧ください。



テープカットをする左から清水町長、鳥居明氏、16代鳥居忠博・息女 北山節子氏、壬生郷友会会長 鳥居誠一郎氏

## 大森テルエさん（安塚三） 「日本随筆家協会賞」を受賞

この程、大森テルエさん（79才）の随筆「不揃いのシルバーたち」が、第52回「日本随筆家協会賞」を受賞しました。この賞は、随筆の芥川賞とも言われるもので、応募総数2,165編から選ばれました。

大正15年生まれの大森さんは、「昭和初期の大不況のあおりで家業が倒産し貧しかった少女時代、そして戦争へと邁進していった時代、人生のスタートラインは一緒だが、戦争によって不揃いの人間ができてしまったことを書きたかった。」とっていました。

「常に輝いて老後を過ごしたいと、いつも心において生活をしています。」と、生き生きと話す大森さん。いつまでもお元気で活躍されることを願っております。



受賞作品を手にする大森さん

## 中学校で「放課後学習 支援サポート」はじまる

10月から壬生中学校と南犬飼中学校で、「放課後学習支援サポート」が始まりました。この事業は、部活動が終了して一段落した中学3年生を対象に、学力向上を目的に自主学習（数学・理科・英語）を支援しようというものです。10月から2月までの期間、放課後週2日から4日程度、中学校の教室を会場に行われています。支援者は元学校の先生や会社員、塾の先生など6名の方が無償で引き受けています。それぞれが得意とする教科を担当し生徒からの質問に対応しています。

生徒の参加は希望制ですが、壬生中では31名、南犬飼中では54名の生徒が参加しています。生徒からは「なんでも気軽に聞けて良い。分からないところをきちんと教えてくれて良い。今後も続けて参加したい。」などといった意見が聞かれ、生徒達に好評です。

現在も支援者を募集中です。ご協力を頂ける方は、教育委員会生涯学習課（☎81-1873）まで御連絡下さい。



教室での学習風景

## 町政懇談会

### ゴミ収集問題などさまざまな意見・要望が

町政について、町長や町執行部と自治会長さんが意見を交える町自治会連合会（河野邊弘吉会長）主催の「平成17年度町政懇談会」が、10月11日、壬生中央公民館で行われました。

懇談会には、50名の自治会長さん、町からは、町長をはじめ助役、収入役、教育長、総務、民生、経済、建設、水道の各部長、教育次長が出席しました。

初めに、清水町長からまちづくりの現状についての説明の後、自治会長さんから、ゴミ収集問題や地域内の道路整備など、身近なさまざまな意見・要望が出され、活発な意見交換が行われました。



熱心に意見がかわされた町政懇談会



実習の様子

## 栃木養護学校生

### 役場で産業現場等における実習を体験

10月17日から28日までの2週間、栃木養護学校生2名が、町役場で現場実習を行いました。

今回の現場実習は、実体験を通して労働者としての心構えを学んだり、将来の就労の適性判断材料等に役立てようとするものです。

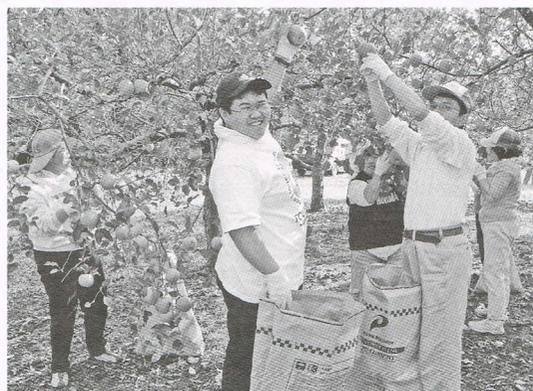
現場実習をしたのは、町内在住の長田将さん（16歳）とAさん（17歳）で、午前中は町シルバー人材センター職員の指導のもと庁舎内を清掃し、午後は各課の会議資料の作成補助などを行いました。職場で指導した職員は、「大変礼儀正しく、仕事に取り組む姿勢はすばらしい。」と、話していました。また、二人は「慣れない仕事で大変だったが、この経験を生かしていきたい。」と抱負を語ってくれました。

## むつみの森利用者、わんぱく公園で りんごの収穫作業を体験

10月28日、わんぱく公園内のリンゴ園で、町授産施設むつみの森利用者が、リンゴの収穫作業を体験しました。

わんぱく公園では、昨年より栃木養護学校生の職場実習の受け入れを行っており、実習生の中にむつみの森利用者がいたこともあり、今回初めて収穫作業が実現しました。

参加者は、公園職員から作業手順の説明を受けた後、赤く実ったリンゴを一つ一つ丁寧に摘み取っていました。



## 会員が奉仕活動を行う

### (社)壬生町シルバー人材センター

壬生町シルバー人材センター（神永榮理事長）では、10月15日の「シルバーの日」（10月の第三土曜日）に、会員98名が参加し、町道などの空き缶やゴミ拾いを行いました。

これは、全国展開されている10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の一環として、シルバー人材センター事業を、地域の皆さんに理解と認識を深めてもらおうと実施したものです。

この日は、午前中に町内の町道など4カ所で清掃を行い、午後は、グランドゴルフなどの愛好会活動を行い会員の親睦を図りました。

# の 広 場



渡辺桃果ちゃん (H14・11・7生)  
(落合)



宇賀神里菜ちゃん (H14・11・6生)  
(至宝町南)



わが家の  
アイドル

今回は1月生まれのアイドルを募集します。  
(締切12月20日)。写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接或は郵便で〒321-0292壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。



佐藤天々乃ちゃん (H14・4・3生)  
寿々乃ちゃん (H16・11・19生)  
(おもちゃのまち)

## 歴史 民俗 資料館だより

シリーズII

### 『みぶの史跡を訪ねて』

### 羽生田最古の古墳群

### 「しもつぼこふんぐん」 「下坪古墳群」

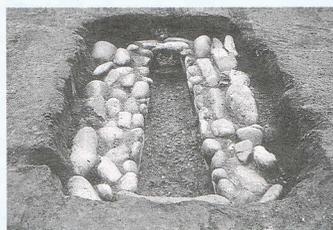
今回から、羽生田地区の文化財を代表する「古墳」について紹介します。

『下坪古墳群』は、現在のふれあいプールの裏にある台地上に造られた古墳群です。皆さんは、「古墳」と言えば「茶臼山古墳」のように高い塚と深く掘られた堀をもつイメージが強いと思います。

しかし、『下坪古墳群』からは高い塚や堀を持たない、川原石を上手く利用し造られた独特の古墳が発見されています。以前は塚や堀を持たないことから、簡略化された古墳時代最後の頃の古墳と考えられていましたが、最近では古墳から出土した鉄器や土器の研究などから、先の『茶臼山古墳』(6世紀後半)よりも古い時期(6世紀初頭)に造られた古墳であることが判明しました。

亡骸を埋葬する石棺(写真1)は、長さが2mに満たない、一人が入るのがやっとの大きさです。石棺の蓋(写真2)は、横長の大きめの川原石を並べ、さらにその

上を粘土により覆い造られています。このような造り方の古墳は、県内でも羽生田地区周辺に集中しています。出土品の特徴としては、鉄器や鉄製の刀などの武器類が多く出土しています。もしかすると、羽生田地区に大型の古墳を築く、先兵として派遣された武人たちのお墓なのかもしれません。尚、出土品は、町歴史民俗資料館で保管しています。



▲写真1



▲写真2

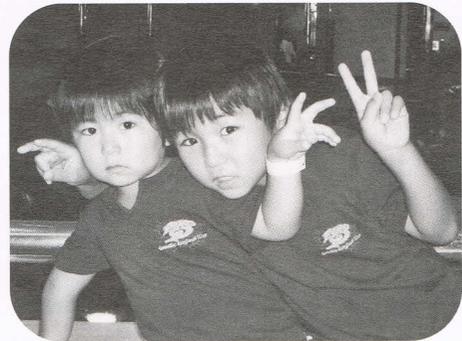
今回は、突如として出現した巨大埴輪をもつ『茶臼山古墳』について、紹介します。

問い合わせ/資料館 ☎ 82-8544

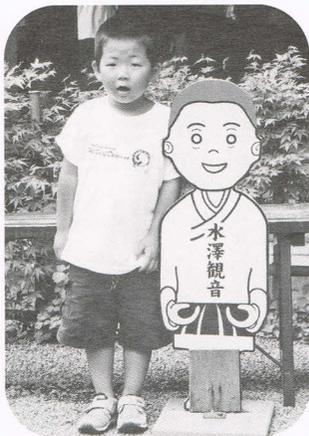
# みんな



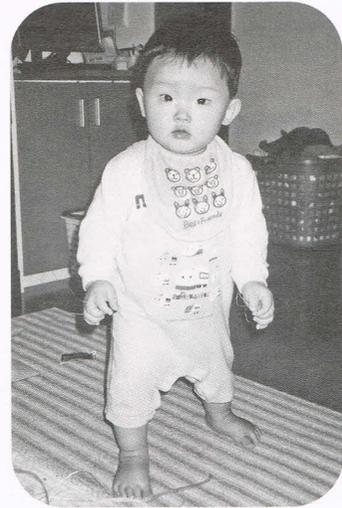
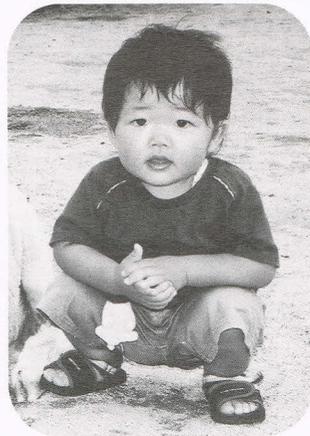
柏倉さつきちゃん (H16・11・15生)  
(六美町中央)



坂田 隼ちゃん (H9・11・27生)  
智ちゃん (H13・11・26生)  
(六美町北部)



入江 甫ちゃん (H11.11.24生) 入江 諒ちゃん (H15.11.13生)  
(県営住宅)



田中晴也ちゃん (H16・11・13生)  
(若草)

## 町寄 へ付

10月17日、フェスタinおもちゃのまち実行委員会(前原芳一会)は、9月25日に開催したフェ

スタinおもちゃのまちの益金14,840円を町に寄付されました。

## ゆうがお会 車椅子5台を寄付



この程、ゆうがお会(高橋米男会長)は、ペットボトル等の資源ごみ回収で得た報奨金の積立金で購入した、車椅子5台を町に寄付しました。今回寄付された車椅子は、役場本庁舎、中央公民館、おもちゃ博物館に設置し、利用されることとなります。同会では今回で4回目の寄付となり、合計18台となります。

## 石井里佳氏(鹿島) 日韓現代芸術祭展示短歌作品を寄贈



この程、石井里佳氏(本名石井洋子・80歳)は、短歌作品「春-春輝・醍醐によせて」を町に寄付されました。作品は、画家の上村松篁の作品「春輝」と奥村土牛の作品「醍醐」を見て詠んだ作品2点で、1点は今年の5月に開催された日韓現代芸術祭で、韓国の錦湖美術館に展示された作品です。もう一点は、同じく6月に開催された箱根アートフェスティバルで箱根彫刻の森美術館に展示された作品です。石井氏は、30代から短歌を始め、今年の7月まで下野文芸の選者を務め、現在は季刊誌「季」の会代表として活躍されています。

